

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果(桜ヶ丘小学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数
桜ヶ丘小	上回った	上回った
埼玉県	68	62
全国	67.2	62.5

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	桜ヶ丘小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	97.5	94.4	93.9
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	86.6	83.1	81.0
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	96.3	91.7	90.5
	新聞を読んでいる(週に1回程度以上)	17.1	12.4	12.6
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	87.8	73.4	70.7
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる	84.1	80.9	77.4
	昨年度までに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	81.7	83.0	78.8
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	46.3	26.8	25.6
教科への関心	国語の勉強は好きだ	63.4	61.6	61.5
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	98.8	94.0	92.8
	算数の勉強は好きだ	69.6	61.2	61.4
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	97.6	94.1	93.3
	英語の勉強は好きだ	76.8	69.6	69.3
主体的・対話的な学び	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う	69.5	54.1	52.5
	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	81.7	83.0	78.8
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	65.9	68.4	63.7
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	75.6	79.5	74.4
その他	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた	87.8	84.7	81.8
	自分には、よいところがあると思う	90.3	85.6	83.5
	将来の夢や目標をもっている	92.7	82.7	81.5
	人の役に立つ人間になりたいと思う	93.9	96.3	95.9
	今住んでいる地域の行事に参加している	64.6	56.8	57.8

【質問紙分析】

- ・規則正しい生活をしている児童の割合が、全国や埼玉県との割合と比べて高い。「週に1回程度以上新聞を読んでいる」割合も全国や埼玉県との割合と比べて高いが、全体としては20%に満たない。様々な方法を通して、新聞を読む取組を行う必要がある。
- ・全国や埼玉県との割合と比べて、学習習慣が身に付いている割合が高い。しかし、「昨年度までに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた」という項目については、埼玉県の数値をやや下回っている。児童の主体性を発揮できる授業づくりをさらに推進していく必要がある。
- ・「人の役に立つ人間になりたいと思う」の項目に関して、本校の割合は高いが、全国や埼玉県との割合を下回っている。自分のよいところを理解し、将来の夢や目標をもっている児童が多いことから、自分の行動が社会貢献に繋がることを意識させていく。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

・○国語1ー

(理由) 出題の趣旨は「原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。」である。原因と結果を結び付けて考える読み取り方を指導している結果と考えられる。

・○国語1二

(理由) 出題の趣旨は「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。」である。グラフを正確に読み取っていると同時に、カードの内容を読んで条件に合わせて書く力が身に付いてきている結果と考えられる。日常生活(草むしり)と結び付けることで、読み取りやすかったと考える。

・○国語3二

(理由) 出題の趣旨は「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。」である。国語科や学級会等をとおして、話し手の内容を捉える学習を積み重ねている結果と考えられる。

・●国語1三(1)ウ

(理由) 出題の趣旨は「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。」である。漢字の意味を正しく理解することや、文脈に即して使うことに課題があると考えられる。

・●国語2四

(理由) 出題の趣旨は「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。」である。資料を読み取り、既存の知識や理解した内容と結び付けて捉えることに課題があると考えられる。

・上記から、読んだことを書く問題においては、日常生活での経験がない文章を読んで書きまとめることに課題があるといえる。

【算数】

・○算数 2 (1)

(理由) 出題の趣旨は「台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。」である。授業において、向かい合った一組の辺が平行であるという基本的な台形の性質をおさえた結果と考えられる。

・○算数 3 (1)

(理由) 出題の趣旨は「() を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる。」である。授業において、式の意味を考えて表現させる活動を行ってきた成果と考えられる。

・○算数 4 (3)

(理由) 出題の趣旨は「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。」である。授業において、グラフの読み取り方を丁寧に行い、日常生活においても活用してきているからであると考えられる。

・●算数 2 (3)

(理由) 出題の趣旨は「正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。」である。テープを切って開いてできた三角形について、正三角形の1つの角の大きさは 60° であること、開く前の三角形の角の大きさが 60° の半分になることを捉えられていないと考えられる。

・●算数 2 (4)

(理由) 出題の趣旨は「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。」である。二つの三角形の面積について、底辺と高さという2つの関係性を結び付けられていないことに課題がある。

・●算数 4 (1)

(理由) 出題の趣旨は「百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる。」である。百分率で表された割合である 30% について、100 人や 10 人を基準量としたとき、それらに対する比較量を捉えられていないと考えられる。

【国語】

- ・語彙を増やして、文章を読んだり書いたりする力をさらに向上させます。
- ・様々な方法を通して新聞を読ませ、時事問題等への理解を深めます。
- ・文章を読んで書きまとめる活動を行い、ポイントとなる部分をおさえて書きまとめる力を身に付けさせます。

【算数】

- ・授業の中で考えを伝え合う場面を多く設定し、多面的に考えられるようにします。
- ・ドリルパーク等を活用して多くの問題に取り組みせ、知識の定着を図ります。
- ・基本的な考え方を関連づけて、発展的に学べるよう問題に取り組みます。

【その他】

- ・授業の中で、考えをアウトプットする場を設定し、理解の度合いを確かめさせます。
- ・短答式問題については、国語が埼玉県の正答率を下回っており、算数は全国・埼玉県の正答率を下回っている。答えが合っているか間違えているかだけでなく、根拠をもとに考えられるようにするため、なぜその答えが正解なのか不正解なのか、理由を答えられるようにします。